

ホーム > 動物実験 > 計画書 変更申請

申請者メニュー

新規申請

飼養保管施設承認申請

飼養保管施設外実験室申請

申請状況一覧

申請者記入欄

アクセス権限

ユーザ名	●●●●●	E-mail	●●●●●	権限	送信権限	
↓他のユーザ 🔍 ユーザ検索						
ユーザ名	●●●●●	E-mail	●●●●●	権限	送信権限 ▼	✕
ユーザ名	●●●●●	E-mail	●●●●●	権限	送信権限 ▼	✕
ユーザ名	●●●●●	E-mail	●●●●●	権限	送信権限 ▼	✕

セキュリティ保護のため、一定時間操作がない場合はタイムアウトが発生します。
長時間作業する場合や中断する際は、1 時間程度を目安に必ず保存をしてください。タイムアウトが発生した場合、入力中のデータが失われますのでご注意ください。

動物実験計画書

※承認番号：

※受付番号：

新規 変更

金沢大学長殿

下記の内容を申請します。

変更理由

実験課題

実験目的

動物実験責任者

 ユーザ検索

所属名		職名	
フリガナ			
氏名			
E-mail		連絡先TEL	
教育訓練の受講状況	☒ 受講 ☐ 未受講		

動物実験実施者

 ユーザ検索

	氏名	所属名	職名	教育訓練の受講状況	並べ替え	
1				☒ 受講 ☐ 未受講		
2				☒ 受講 ☐ 未受講		

動物実験実施者（学外協力研究員用）

	フリガナ 氏名	所属名	職名	教育訓練の受講状況	
1	 			☐ 受講 ☐ 未受講	 

本申請に係る問合せ先

 ユーザ検索

 クリア

フリガナ			
氏名			
E-mail		連絡先TEL	

実験実施期間（最大5年）

～		年3月末まで
---	----------------------	--------

飼養保管施設

 施設選択

	施設名	区分	概要	
1				
2				
3				

施設外実験室

 実験室選択

	実験室名	区分	概要	
1				

使用動物

☐ 哺乳類・鳥類・爬虫類 ☐ 魚類・両生類

	動物種	導入元	微生物の品質	総匹数	
1	▼	▼	▼		✖ +

動物種の系統

実験方法

特殊実験区分

☐ 1. 該当なし

☒ 2. 感染実験 分類： ☐ ABSL1 ☒ ABSL2 ☐ ABSL3

1

参照...

 ファイルが選択されていません。

✖

+

☐ 3. 遺伝子組換え動物使用実験 区分： ☐ P1A ☐ P2A ☐ P3A

🔍 計画書選択

	承認番号	受付番号	遺伝子組換え実験計画書	
1				✖

1

参照...

 ファイルが選択されていません。

✖

+

☐ 4. 放射性同位元素実験

☐ 5. 放射線使用(X線照射/X線撮影)

☐ 6. 麻薬/覚醒剤の使用 (免許：)

- ☐ 7. 化学発癌・重金属実験（具体的に記入：）
- ☐ 8. ヒト由来材料使用（医学倫理承認番号：）

動物実験の種類

- ☐ 1. 研究
- ☐ 2. 教育
- ☐ 3. その他（）

動物実験を必要とする理由

- ☐ 1. 検討したが、動物実験に替わる手段がなかった。
- ☐ 2. 検討した代替手段の精度が不十分だった。
- ☐ 3. その他（）

想定される苦痛のカテゴリー

- ☐ B.脊椎動物を用い、動物に対してほとんどあるいはまったく不快感を与えないと思われる実験。
- ☐ C.脊椎動物を用い、動物に対して軽度のストレスまたは痛み(短時間持続するもの)を伴うと思われる実験。 D.
- ☐ 脊椎動物を用い、回避できない重度のストレスまたは痛み（長時間持続するもの）を伴うと思われる実験。 E.
- ☐ 無麻酔下の脊椎動物に、耐えうる限界に近いまたはそれ以上の痛みを与えられると思われる実験。

動物の苦痛軽減、排除の方法

- ☐ 1. 短時間の保定・拘束および注射など、軽微な苦痛の範囲であり、特に処置を講ずる必要はない。
- ☐ 2. 科学上の目的を損なわない苦痛軽減方法は存在せず、処置できない。
- ☐ 3. 麻酔薬・鎮痛薬等を使用する。
（薬剤名・投与量・経路を記入）
- ☐ 4. 動物が耐えがたい痛みを伴う場合、適切な時期に安楽死措置をとるなどの人道的エンドポイントを考慮する。
（人道的エンドポイントの設定：☐ 摂餌・摂水困難 ☐ 活動性の低下（横たわり、うずくまり） ☐ 急激な体重減少（数日で20%以上）
☐ 臓器/組織障害の微候（呼吸障害、出血・ショック症状、重症の下痢や嘔吐、麻痺） ☐ 腫瘍サイズの著しい増大（体重の10%以上、腫瘍径がマウスで20mm/ラットで40mm以上）
☐ その他 ）
- ☐ 5. その他（具体的に記入）

安楽死の方法

- ☐ 1. 麻酔薬等の使用
（薬剤名・投与量・経路を記入）
- ☐ 2. 炭酸ガス
- ☐ 3. 中枢破壊（具体的に記入）
- ☐ 4. その他（具体的に記入）
- ☐ 5. 安楽死させない（その理由を記入）

特記事項

 保存

確認 

Contact:

動物担当窓口, E-mail risomu@adm.kanazawa-u.ac.jp